

まちの総合情報誌ふじさわ

Nov.2007

# Fujisawa

# 11

No.646



## CONTENTS

特集

### 02 未来を奏でる ハーモニー

#### 30 TOWN TOPICS

まちづくり懇談会 ベトナム学生が来町

#### 32 NEWS & INFORMATION

地域ナイトスクール 寝たきりのお年寄り訪問

#### 36 TOPICS話題あれこれ

最後の藤高祭 藤中テニス部が大活躍

#### 38 情報広場

文芸/はづき旬会 はいチーズ/千葉智香子ちゃん

#### 42 インフォメーション

農業所得収支計算・青色申告決算説明会

#### 44 わたしの夢

及川航さん



**2007  
MARCHING  
& CONCERT**

四半世紀以上も前から

マーチングの振興に力を入れてきた藤沢町

多くの人材をはぐくんできた成功の陰には

町民を主人公とする愛と情熱のドラマがあった

歴史を切り開き、伝統を継承してきた町の音楽シーンと

夢を抱き、未来へ挑む熱き人たちをレポートしながら

音楽の町藤沢の未来を考える――

限りない夢を乗せ、音楽の時は今、ゆっくりと満ちてゆく

♪  
特集

# 未来を 奏でる ハーモニー

音楽による人づくりを進めてきた  
マーチングの町藤沢町。  
その象徴である  
「東北選抜マーチングフェスティバル」は  
少子化や厳しい財政事情による  
自主事業の自粛から  
昨秋、27年の歴史を閉じた。  
「マーチングの灯を消さないでほしい」  
「子どもたちに発表の場を」  
立ち上がった父母や音楽関係者。  
全町から聞こえてきた継続を望む声。  
「2007ふじさわマーチング&コンサート」は  
多くの人の願いを受けて  
11月3日、町民体育館で開かれた。  
四半世紀にわたり築かれてきた  
マーチングの歴史は今、  
地域や住民へと託され  
新たな一步を踏み出した。  
エピローグからプロローグへ——  
自立する本町の音楽シーンを追いながら  
音楽によるまちづくり、  
そして人づくりについて考えてみる。

## Prologue

プロローグ



♪ 第1楽章  
**発表**

色鮮やかなコスチューム  
計算されたフォーメーション  
管楽器と打楽器のハーモニー  
演奏とパフォーマンスのコラボレーション  
会場を埋めた音楽ファンを魅了した  
ふじさわマーチング&コンサートを  
レポートする。

華麗な演技  
迫力の演奏  
住民手づくりの  
温かい音楽祭

「2007ふじさわマーチング  
&コンサート」は文化の日の十一  
月三日、町民体育館で開かれ、園  
児から一般まで百八十七人が出演、  
手づくりの温かいコンサートに詰  
めかけた大勢の音楽ファンから盛  
んな拍手が送られた。

# 律動、躍動、 そして感動 心に残る音楽祭

マーチングの灯を消したくない—  
二十七年の歴史を閉じた  
東北選抜から一年。  
町民手づくりの温かい音楽祭は、  
大きな感動の中、  
新しい歴史を歩み始めた。



ncert

同コンサートは、昨秋幕を閉じた音楽の町藤沢の象徴「東北選抜マーチングフェスティバル」を継承し、出演団体の父母や音楽関係者が実行委員会（星昭宏<sup>あきひろ</sup>会長）を組織して主催した。企画から運営まで、すべて住民の手づくりで行われた。

今回の出演団体は町内からふじっこエンジェル、町内幼稚園・保育園五歳児六十五人、藤沢小学校マーチングバンドクラブ（三十三人）、黄海小学校金管バンドクラブ（十人）、藤沢中学校吹奏楽部（三十四人）、マーチングバンドふじさわビィ・クエスト（十八人）の五団体。町外からは県立千厩高等学校吹奏楽部（二十七人）が賛助出演した。

午前十時半に開会したコンサートでは、各団体が色鮮やかなコスチュームで登場。第一部ではふじっこエンジェルの元気いっぱい演技を皮切りに、藤沢小マーチングバンドクラブ、藤沢中吹奏楽部、ふじさわビィ・クエストの町内団体が、軽快な演奏に乗って躍動感あふれる多彩なパフォーマンスを繰り広げた。

第二部では賛助出演した千厩高吹奏楽部が見事なコンサートを披露。心地よいリズムを刻む打楽器と美しいハーモニーを奏でる管楽器の絶妙なコラボレーションに、



- 1 児童から一般まで総勢122人がいっしょに奏でる「合同演奏」は藤沢ならではの。大迫力の演奏に会場全体が一体感に包まれた
- 2 計算された美しいフォーメーションが洗練されたサウンドを一層引き立てた藤沢中学校吹奏楽部
- 3 町内幼稚園・保育園の5歳児65人で構成するふじっこエンジェルは、フロアいっぱいに元気なマーチングを披露した
- 4 軽快なリズムに乗って、躍動感あふれる演技で会場を沸かせた藤沢小学校マーチングバンドクラブ

会場から大きな拍手が送られた。フィナーレの合同演奏には黄海小金管バンドクラブも出演。園児を除く、五団体百二十二人が、BIRD LANDや海兵隊など四曲を演奏。大編成の迫力あるサウンドに、詰めかけた千人の音楽ファンは、心ゆくまでコンサートを楽しんでいた。



未来を  
奏でる  
ハーモニー

特集

Marching & Cor

黄海小学校金管バンドクラブ

佐川美有希さん  
黄海小6年



小3から始めました。きっかけは、マーチングを頑張るお姉ちゃんを見て、「カッコいい」と思ったからです。楽器はチューバ(バス)を担当しています。今日は合同演奏に出演しました。上手に演奏できたと思います。他校の人たちのマーチングを見ていたら、足がムズムズしてきて「自分も動きたい」と思いました。来年は他校の人たちと、もっともっと交流を深めたいです。

藤沢小学校マーチングバンドクラブ

星 英江さん  
藤沢小6年



小1のとき、友達が練習する姿を見て「カッコいいな」と思い、小2から始めました。チューバを担当しています。マーチングのおもしろさは、みんなの音や動きがピシッと決まったときの気持ちよさ。お客さんから演奏や演技をほめてもらったときはとてもうれしいです。今日は、今までで一番上手にできたと思います。閉会の言葉もしっかり言えたのでよかったです。

ふじっ子エンジェル

山口友樹乃さん  
保呂羽保育園5歳児



前の日まではすごく緊張したけど、今日はどきどきしないでうまくできました。今日は、おうちの人やお友達がいっぱい見に来てくれたのでとてもうれしかったです。マーチングは、お友達といっしょに曲に合わせて演奏したり、踊ったりできるところが楽しいです。これからもマーチングをしたいので、マーチング&コンサートを続けてほしいです。

マーチングの灯を  
消さないでほしい—  
東北選抜が終了し  
立ち上がった  
父母や音楽関係者

一九八〇年にスタートした東北選抜マーチングフェスティバルは、自治体レベルが開催するフェスティバルの草分けと言える。

藤沢町のマーチングの特徴は、年代、組織、地域の枠を越えた取り組みにある。その象徴が園児から一般までがいっしょになって演奏・演技する、合同マーチングだ。会場全体に一体感が生まれ、他では経験することのできない温かい感動を呼び起こしている。

こうした年齢の違い、園と校の違い、地区や学区の違いなど、すべての垣根を越えた取り組みは、見る人を魅了してやまず、東北はもとより全国の関係者が、園児から大人までが一つになって、演奏・演技できることが不思議だ」と口をそろえる。



# INTERVIEW

藤沢中学校吹奏楽部

佐々木香澄さん  
藤沢中3年



練習はきついですけど、みんなで乗り越えることで一体感が生まれ、達成感が味わえます。今日はこれまでで一番楽しかったです。以前は涙を流したこともありましたが、今日は部員34人、千葉先生と笑顔の絶えないステージになり、最高の思い出になりました。藤沢はマーチングの町です。発表する場があると、わたしたちも頑張れるので、今後も続けてほしいです。

千厩高等学校吹奏楽部

千葉由稀さん  
千厩高2年



マーチングの魅力は、演奏と動きががみ合った瞬間。言葉にできない感動があります。吹奏楽に動きはありませんが、みんなで一つの音楽を作るところはマーチングと変わりません。今日は仲間たちと楽しく演奏ができました。皆さんの拍手が温かくて、とてもうれしくなりました。来年も参加できたらうれしいです。皆さんと一緒に演奏できる日を楽しみにしています。

ふじさわハイ・クエスト

千葉尚美さん  
千厩高3年



小4から始め、クラリネットを担当しています。アリーナなど広い場所で演奏し、その響く音に包まれたときの快感がマーチングの魅力です。今日は、練習よりうまく演奏・演技ができました。自分はもちろん、どの団体もみんな楽しく演奏・演技していたことが印象的でした。出演者はもちろんお客さんにとっても、いい思い出になるコンサートを続けてほしいです。

これが藤沢町のマーチングの姿であり、外から見た魅力である。

マーチングを通じた交流は、年々大きな広がりを見せてきた。それはもはや全国へと拡大しており、今では藤沢町と言えば、マーチングの町ですね」という答えさえ返ってくるようになった。

しかし近年、厳しい財政事情から町は主催するイベントを自粛。さらに急激に進む少子化もあって、東北選抜は昨秋、多くの人に惜しまれながら二十七年の歴史を閉じた。

そんな中、「マーチングの灯を消さないでほしい」「頑張る子どもたちの発表の場を」と父母や音楽関係者が立ち上がった。各団体の保護者や指導者は、自ら実行委員会を組織してコンサートを企画。忙しい合間を縫って準備を進め、ついに開催にこぎつけた。

星昭宏実行委員長は、みんなの知恵と情熱を結集し、開催することができて本当にうれしいです。ここから始まる新たな一ページを見てください」と胸を張る。

藤沢のマーチングの歴史は、イベントだけでなく、人や地域までも大きく成長させてきた。二十八年前に灯された小さな灯は、行政から住民の手にしっかりとリレーされ、新しい歴史が動き出した。大きな感動と充実感の中で――

黄海小学校金管バンドクラブ

熊谷 史恵さん  
黄海小教諭



子どもたちは普段、10人でアンサンブルをしているので、迫力ある重厚なサウンドを知る機会がなかなかありません。今日は大編成の合同演奏に参加することができて、子どもたちにとって貴重な体験だったと思います。マーチングをやっている学校や団体だけでなく、町内の児童・生徒や一般の皆さんと一緒に歌ったり演奏したりできるようなイベントに成長してほしいです。

藤沢小学校マーチングバンドクラブ

熊谷富寿子さん  
藤沢小教諭



演奏の表現だけでなく、曲に合わせた動作表現がマーチングのおもしろさです。美しいフォーメーションは見ていて人を楽しませます。そのためには、心を合わせて演奏・演技することが大切で、チームワークが求められます。地元でのコンサートは、慣れ親しんだ会場だけにリラックスしてできました。客席からの反応も直に感じられ、子どもたちもやりがいがあったと思います。

ふじっ子エンジェル

山口 由美さん  
保呂羽保育園保育士



今日は練習の成果以上に力を発揮して、堂々の演奏・演技ができました。本番に強い子どもたちに各園の先生たちも驚いていました。マーチングの魅力は、歌、演奏、踊りなど、個々の得意部分を発揮できることです。みんなが集まり、楽しくできる手づくりコンサートは理想的なスタイルです。わたしたち指導者も、初めてゆっくり見ることができました。

保護者の声

MINAKAWA WATARU  
皆川 和さん  
徳田字名生城



千厩高のアンコール曲のときに、児童や生徒がフロアへ繰り出し踊る光景を見て、「音楽っていいな」と思いました。トランペットを担当する娘もずいぶん上手になり、地元での晴れ舞台に感動しました。

SATO TOMOMI  
佐藤 智美さん  
黄海字下中山



中1と小5、二人の娘が出演しました。中1の姉は学校の吹奏楽部のほかビィ・クエストにも入っています。今日は二人とも立派に演奏できたと思いました。全体のバランスもよく安心して見ていられました。

# INTERVIEW

藤沢中学校吹奏楽部

千葉 尚子さん

藤沢中教諭



千厩高等学校吹奏楽部

小山 智弘さん

千厩高教諭



ふじさわハイ・クエスト

畠山 秀樹さん

J A いわい東職員



音楽を作ってフォーメーションを覚えるマーチングは、完成までに多くの時間と努力を要します。それだけに、息のあった演奏・演技ができた時は、思わずにっこりしてしまいます。その姿を皆さんに見てもらえるコンサートは生徒たちにとって大変貴重な機会です。藤中吹奏楽部は、明るく楽しく真剣に音楽に取り組んでいます。これからも応援してください。

それぞれ美しい音を持つさまざまな楽器が一つに重なり合った時、そこにはダイナミックな響きが生まれ、心を打たれます。今日は演奏で出演しましたが、他団体のマーチングを見て、音だけでは表せない動きの表現力に感動しました。音楽に励む生徒にとって大切なのは発表の場を確保することです。温かくて素晴らしいコンサートを、これからも続けてください。

中1から始め、打楽器一筋24年です。演奏が客席を感動させ、客席の感動が演奏者を感動させるマーチングには、ステージコンサートにはない一体感があります。初のコンサートは大成功でした。今年より来年、来年より再来年と進化させ、ここにしかないオンリーワンのコンサートをつくっていきたいです。音楽に大切なのは、才能ではなく努力と情熱です。

SATO MICHEKO  
佐藤美千子さん

藤沢字黒石



ABE TAKAKO  
阿部多賀子さん

藤沢字町裏



HASHIMOTO KAYOKO  
橋本かよ子さん

藤沢字板橋



素晴らしい演奏で、宮城県で行われた東北大会のときよりも上手だったと思います。千厩高の生徒たちが先生の指導に大きな声で「はい」と答える姿が印象的で、子どもたちに見習わせたいと思いました。

東北選抜終了後、多くの皆さんの努力と協力でコンサートができてうれしかったです。演奏・演技する子どもたちといっしょにやれた気分がとても満足です。子どもたちのびのび演奏している姿に感激しました。

なごやかなムードで温かいコンサートでした。出演した娘もリラックスして演技できたようです。リハーサルと比べて本番はとてもいい出来だったと思います。子どもたちの発表の場として継続してほしいです。

# Parent Child Interview

CHIBA MARI & MIKA

## 千葉麻里さん 光夏さん

profile

母・まりさん

1971年藤沢町生まれ。会社員。藤沢中1年から吹奏楽部で活躍。フルートを担当。千葉基一先生が藤沢中で教えた最後の生徒の一人。高校、大学でも吹奏楽部に所属。社会人になってからは、一関吹奏楽団で活躍。藤沢字早道在住

娘・みかさん

1999年藤沢町生まれ。藤沢小2年。今年からマーチング活動を始め、バンドフロントを担当。天性のリズム感は母親譲り

## 好きな音楽に親子で取り組む 子どもの成長が喜び

「自主開催だけにうれしいです。感動したし、興奮しました」と声を弾ませる麻里さんは、本町マーチング活動を支えてきた一人。これまではスタッフとしてかかわることが多かったが、今年は長女光夏さんの母親として、藤沢小を指導する一人として忙しく動いた。

今年からマーチングを始めた光夏さん。コンサートではバンドフロントを担当。走って跳んで、体いっぱい音楽を表現した。「いつもより体が動いて楽しかった」と満足そう。天性のリズム感は母親譲りだ。

中1からマーチングを始めた麻里

さんは、千葉基一先生に教わった最後の生徒の一人。3年の時は岩淵富士子先生から指導を受けた。

「二人とも楽しかったです。でも愛があるんです。だから頑張れたし、頑張ればどんどん上達するからますます音楽が好きになる。みんなで一つの音楽をつくり上げるプロセスが好きでしたね」

基本を重視する麻里さん。藤沢小では基本練習に時間をかける。

「リズムを合わせて、ちょっとステップを変えただけでもすごく上手になるんです」

うちの子よその子にかかわらず、

部員全員に同じ愛情を注ぐ。「分け隔てなく」がモットー。「基一先生の影響かな」と笑う。

高校、大学はもちろん、社会人になってからも一関吹奏楽団で活躍する根っからの音楽家。大好きな音楽に親子で取り組める喜びは何ものにも変えられない。

将来は、母と同じフルートを演奏したいと言う光夏さん。「音を出せるようになったんだよ」とにっこり。音楽を通してわが子の成長を感じる時が、親として、指導者として何よりうれしい。「いつか親子で演奏したいな」。夢は広がる。



♪ 第2楽章

# 発展

多くの人の手によって、  
前進してきたマーチング活動。  
町民が心をついに奏でたハーモニーは、  
マーチングだけでなく人や町も育ててきた。  
四半世紀の歴史を振り返りながら、  
音楽の町藤沢の発展を振り返る。

# 音楽の環、友情の輪 そして心の和 人を育てる三つの「わ」

四半世紀以上にわたる本町のマーチング活動。多くの人の情熱と努力で、一歩一歩前進してきた。第一回東北選抜から今日までの歴史を振り返り、マーチング活動が果たしてきた役割について考える。

## 音楽の「環」を広げる

第一回東北選抜マーチングフェスティバルは、藤沢中学校吹奏楽部の二度目の全国大会出場と黄海中学鼓隊の結成を機に、八〇年十一月に開かれた。

町民体育館のフロアいっぱいには繰り広げられる参加七団体の演奏・演技は、会場を埋めた町民に大きな感動を与え、その後マーチングの環は全町的な広がりを見せた。

八三年には藤沢幼稚園・保育園と保呂羽保育園が、八四年には黄海幼稚園・保育園と県立藤沢高等学校が活動を開始、藤沢小学校金管バンドクラブもマーチングに取り組んだ。

翌八五年には新沼、徳田、大籠の各保育園が加わり、町内幼稚園・保育園五歳児の合同演技が実現した。

八九年には黄海小学校に金管バンドが結成された。第十七回(九六年)からはふじの実学園とマーチングバンドふじさわビィ・クエストも出場するなど、マーチング活動は加速度を増した。

町外からの出演団体は、各県を代表する優秀なバンドが選抜されることから演奏・演技のレベルは高い。技術はもちろんマーチングに対する意識の高い団体との交流が、良い刺激を与えていることは言うまでもなく、音楽の「環」は世代や自治体の枠を越え、その広がりを見せてきた。

# A L B U M



1 色鮮やかなコスチュームをまとい開会セレモニーで整列する演奏者 2 町内幼稚園・保育園の5歳児65人で構成された「ふじっ子エンジェル」は元気いっぱいの演技を見せた 3 東北選抜マーチングフェスティバルからマーチング&コンサートに変わっても、その人気は変わらない。大勢の人が詰めかけた

## 友情の「輪」を深める

マーチング活動がスタートして十年目の八五年十月、マーチング活動を継続的に支援する目的で藤沢町マーチング協会が設立された。

それまで実行委員会形式で開かれていた東北選抜マーチングフェスティバルは、協会が直接企画・運営することになった。

さらにイベントの開催だけでなく、技術のレベルアップや情報交換を図る講習会なども年間を通して開催するなど、あらゆる角度からマーチングの振興を支援する体制が整った。

東北地区にはマーチングバンド関係組織として、全日本マーチングバンド・パトントワリング協会東北支部、全日本吹奏楽連盟東北支部、日本マーチング指導者協会東北支部などがある。藤沢町マーチング協会は全日本マーチングバンド・パトントワリング協会東北支部に加盟し、情報交換や各地との交流、連携を図り、友情を深めている。

自治体レベルで本町同様のフェスティバルを開催している宮城県富谷町とは、八九年から相互交流を深めてきた。音楽を通して一人一人が理解を深め、温め合ってきた友情は、県境を越え、子ども同士、大人同士、

子どもと大人、さらには団体や自治体同士のきずなへと発展してきた。

## 心の「和」をはぐくむ

マーチングは、音楽を、音と動きと色彩の物語」として身体表現する「バンドのミュージカル」とか「バンドのオペラ」といわれている。

金管、木管、打楽器など、音を異にするパートがそれぞれ個性や存在感を発揮し、それでいて全体の中で調和している。音楽はもちろん、動きや色彩についても、ステージコンサートにはない創意や工夫がちりばめられている。音楽が動きを導き、動きが音楽を輝かせ、互いに引き出し合いながら相乗効果を発揮して、表現の幅を広げていくところが魅力でありだとい味だ。

千葉会長は、表現力を養うためには、知識や技術だけでなく、豊かな心を育てなければなりません」と言う。さらに「マーチングにはチームワークが欠かせません。音量、音程、動きのスピードなど、自分に対する責任感と仲間と調和する心がなければ演技できません。集団での協調性や思いやりの心は、人とふれ合い、人とかかわりながら少しずつ育っていくものです」と話している。

# P H O T O



6



7



5

4 5レベルの高い演奏で会場を魅了した「千厩高吹奏楽部」。後ろはフロアに飛び出し踊る他団体の出演者  
6 堂々の演奏演技を見せた「藤沢小マーチングバンドクラブ」  
7 計算された美しいフォーメーションでマーチングのだいご味を披露した「藤沢中吹奏楽部」



4

音楽一筋に、持てるすべてを燃焼し、  
ついには定年を待たずして  
歸らぬ人となった一人の男がいた。  
千葉基一先生である。  
音楽の町藤沢の礎を築いた  
千葉先生の足跡をたどる。



音楽の父として多くの  
教え子たちから愛され、  
尊敬された藤沢町の  
マーチングの生みの親  
千葉基一氏

音楽のまちづくりの生涯を捧げた男

# 千葉基一先生

始まりは5台の楽器から

一九三二年、本町に生まれた千葉  
基一先生は、黄海小、黄海中を経て  
県立千厩高へ進学。千厩高時代の音  
楽教師との出会いが、教育者として  
進む基一先生の人生を決定づけた。  
先生は、母校黄海中の教師として  
勤務しながら音楽教師をめざし、武  
蔵野音大で専門課程を学んだ。  
六一年四月、綾里中(大船渡市)へ  
転任。当時としては珍しい「全校鼓  
笛隊」を結成して話題を呼んだ。  
六五年四月、興田中(一関市)に転  
任。ここで二本のトランペット、ト  
ロンボーン、古ぼけたバスドラムと  
スネアドラム、五台の楽器と出会う。  
これが先生の吹奏楽人生のスタート

になった。その年の卒業式、五台の  
楽器が奏でた校歌と行進曲は大きな  
感動を呼び、先生にとって忘れられ  
ない初演となった。

赴任四年目の六九年、興田中は吹  
奏楽コンクール若手県大会Bクラス  
(当時「三十五人以下」で優勝、堂々  
東北大会へ駒を進めた。

藤沢中の黄金時代を築く

先生は、七一年四月から八六年三  
月まで十五年間を藤沢中に勤務した。  
この間、同校吹奏楽部が輝かしい黄  
金時代を築いたことは記憶に新しい。  
着任当時の部員は十数人だったが、  
五月には二十人の新入部員が加わり、  
早くも一年目にして吹奏楽コンクー



昭和54年2月、  
第6回マーチングバンド・  
パトントワリング全国大会に出場し、  
横浜市内をパレードする藤沢中吹奏楽部

音楽に夢を  
心に愛を

その名を馳せた。  
しかし、「コンクールの成績だけ  
を追うあまりに、音楽がむなししい存  
在になっているのでは」と、先生は  
疑問を持つようになる。

マーチングの町藤沢誕生

もつと自由に楽しく、老若男女誰  
もが楽しめる音楽 地域と一体と  
なつて共に発展できる音楽を――

七六年春、先生は関係者にマーチ  
ングの魅力を説いてまわり、新しい  
音楽活動を提案した。演奏に動きが  
加わることで「見る楽しさ」と「聴く  
楽しさ」を同時に体感できるマーチ  
ングは、先生が目指した、誰もが楽  
しめる音楽であり、関係者の共感  
を得た。こうしてマーチングの町藤  
沢は誕生した。

未知の世界への挑戦に不安がな  
かったわけではない。しかし、町や  
学校、父母らは一丸となってマーチ  
ング活動を支援し、生徒のエネル  
ギーを引き出した。

七九年二月、ついに藤沢中はマー  
チングフェスティバル全国大会に出

ル若手県南地区予選Bクラスに出場  
しかし、力及ばず落選。これが藤中  
吹奏楽部の歴史の第一歩となった。  
先生の卓越した指導力は、生徒の  
潜在的な能力を引き出した。翌七二  
年には、最高峰のAクラスへ当時「  
四十五人以下」で県大会第三位。七  
三、七四年には第二位、そして七五  
年、ついに濃紺の大優勝旗を手にし  
た。その勢いはとどまることを知ら  
ず七六、七七年と県大会三連覇、東  
北大会でも銀賞に入るなど輝かしい  
成績を収めた。同校はその後も四度  
東北大会に出場するなど、県内外に





音楽一筋に持てるすべてを燃焼し、59歳の若さでその生涯を閉じた千葉基一先生。その偉業は、今なお多くの町民の胸中に生きている



全日本吹奏楽コンクール第20回東北大会で演奏する藤沢中吹奏楽部。名門藤中の名を全国に馳せた

場。横浜の地から全国にその名を轟かせた。応援に駆けつけた後援会員や父母らは、横浜市街をパレードする子どもたちの姿に「これがおらが町の子どもたちかと思うと涙でフアインダーがくもり、シャッターを切れなかった」と振り返る。その後八〇年、八三年にも全国大会に出場。その活躍は多くの町民に自信と誇り、勇気と感動を与えた。

### 愛と情熱の「音楽の父」

基一先生は、才能の有無にかかわらず、すべての生徒に愛情を注ぎ、分け隔てなく指導した。そして、どんな生徒をも必ず一人前の部員に育て上げた。それは周囲の教師があ

の子どもが...と、その変貌ぶりに驚くほどだった。

部活動で遅くなった時は、自家用車でそれぞれの家に送り届け、楽器が故障すれば徹夜で修理した。そんな先生を子どもたちは心から慕い、「基一っあん」と呼ぶ生徒もいた。

無理を承知で努力を続けた先生は、過労が重なって健康を害し、たびたび心臓発作を起こすようになる。

八六年四月、藤沢小学校に転任。

八八年には全日本小学校バンドフェスティバルに東北代表として出場。マーチングと神楽を融合させた独創性あふれる演技は、絵本に凝縮された子どもたちの四季を見ているようにと称賛された。

数々の偉業を成し遂げた先生だが九〇年、再び病に倒れた。そして藤沢中が四度目の全国大会出場を果たし、藤沢高が全国高校総合文化祭に出場した九一年八月二十七日、多くの人の祈りもむなしく五十九歳の生涯を閉じた。

数百人の教え子たち全員の名前を覚え、その一人一人と抱きしめるようにつきあい、それぞれの個性や能力を最大限に引き出した千葉基一先生。彼は教師としての範ちゆうにとどまらず、男が持つ父性と限りない感性でパーソナリティーを發揮し、多くの人材を育てた藤沢町の音楽の父である。その偉業は、今なお多くの町民の胸中に生きている。

# 音楽を継承する 大人たち

ビー・クエスト  
彼らの存在抜きに  
音楽の町は語れない

ハイレベルの演奏と計算されたフォーメーション。圧倒的なパフォーマンスで会場をわかせたふじさわビー・クエスト。町内唯一の社会人バンドは、東北選抜や今マーチング&コンサートで、演技者としてだけでなく裏方としても活躍。もはや町の音楽活動になくはない縁の下の力持ちでもある。

中学、高校時代に吹奏楽やマーチングを経験した仲間が集まり九六年に結成。現在、十八

人のメンバーが毎週金曜日、町民体育館などで練習している。

午後七時半。仕事を終えたメンバーが一人、二人とやってくる。互いにあいさつを交わした後、それぞれ楽器のチューニングを行い、セクションごとの練習に入る。冷え込む外とは対照的にメンバーは底抜けに明るい。会話も弾む。一通りのウォーミングアップを終え、アンサンブルを行う。軽快なリズムに乗って重厚なサウンドが室内に響く。

*Fujisawa B-Quest*



# Parent Child Interview

OIKAWA KAZUHIRO & AYAKA

## 及川和広さん 彩夏さん

### profile

#### 父・かずひろさん

1967年藤沢町生まれ。会社員。藤沢中入学と同時に吹奏楽部に入部。トロンボーンを担当。千葉基一先生に教わった藤沢中黄金期の一人。現在はふじさわビィ・クエストに所属し活躍。藤沢小指導者の一人。藤沢字崎ヶ森在住

#### 娘・あやかさん

1996年藤沢町生まれ。藤沢小5年。1年からマーチング活動を始め、4年からトロンボーンを担当

## 音楽の楽しさと練習の厳しさを 子どもたちに伝えたい

父の影響でマーチングを始めた彩夏さん。父と同じトロンボーンを担当した。

「緊張したけど上手に出来ました。お客さんもたくさん入ってうれしかったです」とにっこり笑う。

藤沢小の指導者でもある父和広さんは、ふじさわビィ・クエストにも所属しており、コンサートでは父、奏者、指導者、スタッフの4役をこなした。

「今年一番の出来。県南大会よりも東北大会よりもよかったんじゃないかな」と安堵の表情を浮かべる。

和広さんがマーチングを始めたの

は中1。奇しくもその年、第1回東北選抜が開かれた。そう、千葉基一先生に教わった藤中黄金期の一人なのである。普段はポーカークフェースしているが、内に秘めた「音」へのこだわりは人一倍熱い。

あれから28年、今年は娘といっしょにフロアに立った。


「毎年のように東北選抜にかかわってきたから、どれも思い出深いけど今日は特別。本当にいいコンサートになった。これからもずっと続けていきたいですね」

音楽一筋の父に対し、「テニスもやってみたいな」と好奇心旺盛な娘。

この3年間、クラブ活動では指導者として、家では父として娘の成長を見守ってきた。

「音楽の深さは人間の深さ。音楽には意識しなくても人間性が出ます。だから基一先生は、楽しさと厳しさの両方を教えてくれました。それを子どもたちに伝えていきたい」と人づくりを強調する。

「スライドさせて音の位置を決めるトロンボーンは難しい」と言う彩夏さんに、「だからやりがいがある」と切り返す和広さん。2台並んだトロンボーンに、親子のきずな、そして師弟のきずなを見た。



♪ 第3楽章  
**発進**

東北選抜マーチングフェスティバルは  
27年の歴史を閉じたが、  
その意志を継承し  
2007ふじさわマーチング&コンサートが  
住民の手によって開かれた。  
エピローグからプロローグへ —  
再発進した音楽の町の未来を考える。

## 一〇〇年 藤沢産 他に誇れる 独自の地域文化

町はさまざまな分野でまちづくりを進めている。「音楽のまちづくり」は、豊かな人材を育成する取り組みの一つで、昭和の時代から力を入れてきた施策でもある。

マーチングは、音をつくる「動きを考える」「演奏する」「演技する」「演奏者を支える」「聴く」「見る」など、いろいろな立場からかかわったり楽

しんだりできる総合芸術だ。しかも本町では、小さな子どもから大人まで世代を超えて普及、拡大しており、もはや「町技」と言える取り組みに成長発展している。

マーチングがこれほど多くの人から愛され、評価されているのには理由がある。それは、藤沢にしかない、藤沢でしかできない「一〇〇年 藤沢産」へのこだわりである。上手下手を競うだけでなく、心から楽しめる音楽、素直に感動できる音楽を、自らの手でつくり上げてきたからにほかならない。

# 伝統を継ぎ 歴史を切り開く 音楽の町未来へと発進

マーチングバンドは全国にたくさんある。

しかし園児から社会人まで、

世代を超え、全町挙げて取り組む自治体はそうはない。

町が施策として推進してきたマーチング活動

二十八年目の秋、そのタスキは町から住民へとリレーされた。

伝統を継承し、歴史を創造する――

音楽の町藤沢の未来を考える。

このことは、お金を出せば何でも手に入る豊かな時代の中で、本当に心を動かされるもの、いつまでも心に残るものが見直されてきている証でもあり、人の成長過程でもっとも重要な「心」を育ててきた。

今回の「マーチング&コンサート」で司会を務めた畠山秀樹さんひだけき、保呂羽大宝城ひらは、三十年近くも続いているんだから、そのエネルギーがすごいですよ。ぼくをはじめきつとみんなマーチングが大好きなんです。だから続けてこれたし、頑張つてこれたんだと思います。心から楽しめるマーチングは藤沢のシンボル。これからも息の長い活動を続けていきたいですね」と語る。

## たくさんの手が 音楽を、そして町を つくっている

住民が実行委員会を組織して自主開催した初の「マーチング&コンサート」。過去二十七回の東北選抜マーチングフェスティバルとは、ひと味もふた味も違う大きな意味を持つコンサートになった。

「ここから始まる新たな一ページを見てください」

開演前、星昭宏実行委員長が話した言葉がすべてを物語っていた。

一九八〇年、ここからスタートし

たマーチング活動は、住民、協会、町が一つになつて知恵と力を結集し、愛と情熱を注いで、演奏・演技の技術を全国レベルにまで高めてきた。心から音楽を愛する多くの町の音楽家を育ててきた。町中が躍動する感動のフェスティバルやコンサートをつくってきた。

そこには、「教える手」「挑戦する手」「継承する手」「つくる手」「支える手」「導く手」「育てる手」「助ける手」、そして「愛する手」があった。たくさん「手」が音楽を、そして町をつくってきた。

町には、「力強い手」や、「心強い手」がたくさんある。その「手」が集まつてがっちりスクラムを組めば、相乗効果を発揮して、「1+1=2」ではなく3にも4にもなる大きなチカラが生まれる。そのチカラが人を育て、町をつくり、夢をかなえていく。

音楽の町は今、新しい歴史の扉を開き、再び発進した。これからも古里を愛する心、音楽を愛する心がある限り、ヒストリー（歴史）の中でたくさんストーリー（物語）が生まれていくに違いない。

## 未来を 奏でる ハーモニー 特集

# いい土壌に愛情を注ぐ それが成長発展の秘けつ 自然体で続けてほしい



HOSHI AKIHIRO

「マーチング&コンサート」は、地元の皆さんに「子どもたちの頑張っている姿を見てほしい」と企画しました。町、町教委、町協会の皆さんが強力に支援してくださったほか、千厩高吹奏楽部の皆さんにはすてきな演奏で盛り上げていただき、おかげで素晴らしいイベントになりました。協力してくれた多くの皆さんに心から感謝します。

今回のコンサートでは、手づくりの温かさ、人とふれあうやさしさ、支え合う心などを伝えたいと取り組みました。それは、四半世紀にわたり音楽による人づくりを進めてきた町の理念を継承しながら、その延長線上に新しい歴史をつくっていかうと思ったからです。出演した子どもたちにも責任感や思いやりの

## 星 昭 宏

2007ふじさわマーチング&コンサート実行委員長  
ふじの実学園支援課主幹 藤沢字仁郷

実行委員長としてリーダーシップを発揮し、見事なマーチング&コンサートを企画、運営した星昭宏さん。人と音楽の関係、そしてマーチング活動の発展可能性について聞いた。

心を学んでほしいので、スタッフといっしょに後片付けまでやってもらいました。そして持参したおにぎりをみんなで食べて友情を深めました。

半世紀ほど前、「藤楽団」というバンドが活躍した藤沢町は、古くから人々の暮らしに音楽がとけ込んでいる町です。マーチング会場でも70代、80代のおじいちゃんやおばあちゃんがソロ演奏の後に拍手を送る姿も見られるなど、地域に音楽が浸透していることがよくわかります。そんな土壌と地域の

愛情が藤沢のマーチングを育ててきたのだと思います。

音楽には心身を生き生きとさせる療法効果があるそうです。マーチングを演じて、鑑賞して、みんなで楽しい時間を共有できたことはとても意義のあることだったと思います。

藤沢には音楽に打ち込める良質な土壌とさんさんと降り注ぐ地域の愛情があります。子どもたちの夢を育てるために、潜在能力を開花させるために、これからも自然体で続けていけたらいいですね。



音楽を心から楽しめる  
自分らしさを表現できる  
そんな活動を広めたい



IWABUCHI FUJIKO

千葉基一先生の後任で、藤沢中吹奏楽部を指導しました。当時の生徒の多くは、小中学生を持つ親となり、今回の「マーチング&コンサート」にも大きくかかわってくれました。久しぶりに再会した人もいましたが、マーチングで結ばれた関係は切っても切れません。先生と生徒の域を越え、かけがえのない仲間になっています。

藤中吹奏楽部は、「自分たちの活動を見てほしい」表現する場がほしい」と、自ら定期演奏会を開いてきました。パンフレットやチラシの作成からイベントの企画、運営まで、すべて生徒の手づくりによるものでした。そういう経験が、今にしっかり生きています。

四半世紀の歴史を重ね、マー

## 岩 淵 富 士 子

2007ふじさわマーチング&コンサート司会者  
千歳中教諭 保呂羽字宇道沢

指導者として、司会者として、長年、マーチング活動に携わってきた岩淵富士子さん。これからの音楽活動のあり方について聞いた。

チングは全町に普及拡大し、一步一步レベルアップしてきました。音楽のまちづくりは、大きな成果を挙げてきました。

これからは、カタチにこだわらず、自分たちが心から楽しめる企画が必要だと思います。今回の「マーチング&コンサート」は、規模は小さくても、楽しさや元気は東北選抜にも負けないものだったと思うからです。それはきっと自分たちで企画、運営し、本当にやりたいコンサート、自分らしさを表現できる場所を求めた結果生ま

れたスタイルだったからです。

音楽は楽しむものです。アンコールが出たりトークが飛び出したり、ライブならではの自由さが、伸び伸びできる空間と生き生き輝く時間をつくったのではないのでしょうか。

出演者が心から楽しんでこそ、感動はダイレクトに客席へと伝わります。マーチングという地域が誇るテーマで、会場が一つになった温かいコンサートは、これからの音楽活動の方向性を示したようにも思います。

## Top Interview

音楽の町の未来予想図は？  
藤沢町マーチング協会  
千葉弘之会長に  
話を聞いた

# 「深化」が人や町を 「進化」させ、そこに 「真価」を生み出している

## 1 楽器と心の チューニング

「多くの人材をはぐくみ、町民に夢と感動を与えてきたマーチング活動。その魅力とマーチングが果たしてきた役割について聞かせてください。」

千葉 音楽は奏でるだけでも美しいものです。それに動きが加わることで、音楽

効果はさらに高まります。迫力あるサウンドと美しいフォーメーションが見ている人たちに感動を与える、それがマーチングの魅力です。「聴く楽しさ」と「見る楽しさ」を同時に体験できます。

マーチングには欧・米二つのルーツがあります。現在藤沢町が取り組んでいるマーチングは、アメリカンフットボールのハーフトームショーで選手を激励する米国スタイル。日本で言うところの応援歌、それがマーチングです。

藤沢町マーチング協会

# 千葉弘之 会長

### profile

ちば・ひろゆき 1965年藤沢町生まれ。中学時代は野球部に所属、高校時代から吹奏楽部で活躍する。町マーチング協会長、マーチングバンドふじさわビィ・クエスト会長。中1の長女香南子さん、小4の二女夏子さんもマーチング活動に励む。二人の娘のほか妻、長男、両親と7人暮らし。藤沢字吉高在住、42歳

みんなで音楽を作るためにはバランスが大事です。相手の音量や音程を聴きながら合わせないときれいな和音は生まれません。楽器のチューニング同様に、心のチューニングが大事です。

子どもたちにそんな高度なことをできるのか、と思われるかもしれませんが、それができるから子どもの可能性ってすごいと思います。音楽を通して、豊かな心はもろろん、責任感や協調性も育つていきます。

## 2

### 直面する課題 少子化への対応

—少子化の波はマーチング活動を継続する上で、適正規模が確保できない「小編成化」を招いています。今後、どのような対応が必要でしょうか。

千葉 少子化が進み、単独では編成できない園や学校も増えています。学区を越えて活動できる仕組みが必要だと思います。今年の黄海小学校はメンバーが十人。単独で演奏・演技するには人数が不足しています。コンサートの目玉、合同演奏「でいご」の練習の成果を発表しました。このように年代や学校という垣根を越えた活動は、小編成化という避けられない課題を乗り越えるための一つの方法だと思います。

九十六年に結成されたマーチングバンドふじさわビィ・クエストは、町内唯一

の一般バンドです。東北選抜では、演技者としてだけでなく裏方としても活躍。縁の下の力持ちとして一役買っています。

ビィ・クエストには、社会人のほかに中高生も参加しています。マーチング活動のない高校に進学した生徒や、もともとマーチングに打ち込みたい生徒の受け皿となつていきます。社会人メンバーには藤沢中、藤沢高の黄金時代を経験した人も多く、レベルの高い技術を学べることもメリットです。子どもの数は減つても、一人一人の元気や可能性は昔と変わりません。みんなで子どもたちを支え、応援していくことが大事だと思います。

## 3

### さらなる発展を 遂げるために

—二十八年の歴史を重ねてきたマーチング活動。この伝統と感動を風化させることなく時代へ継承していくためには、今後どんなことが必要でしょうか。

千葉 マーチング協会の本来のスタンスは、自主事業を開催することではなく、マーチングに励む人や団体を支援することです。

これまでの四半世紀は、マーチングの普及拡大を目指し、どんどん前に進んできました。でも、これからは、地に足をつけ、地域に根を下ろした活動が重要と考えています。つまり、息の長い活動を続けるために、足腰を強化することが大

事だと思うのです。「少子化だから活動ができない」「予算がないからイベントを止める」ではなく、どんな状況でも続けていくことが大事です。フェスティバルやコンサートは、それ自体目的ではなく手段。マーチング活動の目的は、音楽を通じた人づくりにこそあるからです。

そのためには技術面と精神面の両面からきちんと指導できる人材の育成が急務です。全日本マーチングバンド・パトントワリング協会が認定する一級指導者を、協会スタッフやビィ・クエストのメンバーから育てたいと考えています。

少子化で子どもが減れば、一人の負担は増えてきます。それを無理して頑張れば、子どもたちは大変な思いだけが先行し、せっかく取り組んだ音楽やマーチングもやがては嫌いになつてしまつてしまう。大切なことは、自分たちのキャパシティを知ること。等身大の活動を続けていくことが継続の秘けつです。

コンサートも予算、出演者やスタッフの数を考慮しながら、背伸びせず、できる範囲で工夫しながら開催したいと考えています。

藤沢のマーチングは新たな一歩を踏み出しました。でもそれは、決して新しいことへの挑戦ではありません。むしろ、これまで積み上げてきたものを、より深みあるものにしていくことです。移りゆく時代の中で、深化させていくことが「進化」へとつながり、価値ある音楽の町藤沢の実現、つまり「真価」を生み出していくと思っています。

未来を  
奏でる  
ハーモニー  
特集

**地** 方の自治体は近年、厳しい財政事情を強いられ、多くの町や村が自治体再編の岐路に立たされている。本町も例外ではなく、現在、行財政改革の真っただ中にある。

住民と行政が共に手を携え、知恵と力を結集して地域をつくる、それが「協働のまちづくり」であり「地域力」である。協働とは、行政ができないこと、持ちきれない部分を地域が補完するものではない。あくまで住民が主体的に行動を起こし、できない部分を地域や行政が支援していくのが協働だ。

「マーチングの灯を消したくない」

「子どもたちに発表の場を」

保護者や指導者が立ち上がり、自ら企画、運営し、それを町や協会が支援した「マーチング&コンサート」は、まちづくりのあらゆる分野で今、必要とされている協働の手本と言える。

**31** 年前の春、千葉基一先生はここ藤沢で、音楽が持つ無限の可能性を追い求め、地域や音楽関係者にマーチングの魅力を説いて歩いた。

その後、マーチングは加速度的に全町に普及・拡大し、「吹奏楽の町」は「マーチングの町」へとその姿を変えていった。

数年後、町は「東北選抜マーチングフェスティバル」を開催。マーチングの町藤沢の名はまたたくまに全国へと広がった。10年目には住民組織の藤沢町マーチング協会が設立され、「東北選抜」のタスキは町から協会へとリレーされた。

そして今、音楽を愛し、地域を愛する住民自らがその伝統を継承し、新しい歴史の創造に向け大きな一歩を踏み出したのである。

## Epilogu 奏乗効果

**藤** 沢のマーチングは、世代をつなぐ縦軸と地域を動かす横軸とをリンクさせることで、地域の一体感を醸成、誰もが参加できる音楽、誰もが楽しめる音楽をつくってきた。一方でそれは、家族や地域のきずなが失われつつある中でコミュニティ再生の役割も果たすなど相乗効果を発揮してきた。

藤沢をつくっているのは、ここに住み、生きる人たちだ。音楽を愛し、夢を抱き、誇りを持って未来へと向かうその姿は、本当にたくましく見えた。そんな保護者や指導者とかかわりながら育っていく子どもたちは、きっと、古里に誇りを持つだろう。もっと、古里を好きになるだろう。ずっと、音楽を続けたい、そう思うに違いない。

2007年11月3日——

一本の指揮棒が振り下ろされた。一筋の音が静寂を破り、軽快なリズムが刻まれていく。やがてそれは躍動感あふれる「音楽」となって、多くの人々の心に感動を焼き付けていく——

本質を極め続ける音楽は、理想郷を求め続けるまちづくりと重ね合わせることができる。金管・木管・打楽器が調和して美しいハーモニーを奏できるように、男・女・子ども・大人が、家庭・地域・町が、互いに個を認め合い、融合していくことで、そこに価値や魅力が生み出されていく。

限りない夢を乗せ、共に奏でる未来へのハーモニーは始まったばかり。藤沢という大いなる舞台上、音楽の時はゆっくりと満ちてゆく——

特集 未来を奏でるハーモニー 完

未来を奏するハーモニー  
特集

本質を極め続ける音楽は  
理想郷を求め、挑み続ける  
まちづくりと似ている  
限りない夢を乗せて共に奏でよう  
未来へのハーモニー

海兵隊

for Full Concert Band

FUJISAWA  
B-CORPORATION

Tempo

BIRDLAND

by JOEY ZAWISUL  
arranged by TOM WALLACE  
percussion by TONY MCUTCHEN

# 総合計画の基本構想を説明し 町の将来への意見求める

保呂羽地区皮切りに町内6会場で  
まちづくり懇談会

## 主な質問と回答

Q 今後の財政見通しはどうなっているか。

A 歳入減の対策としてプロジェクトチームを立ち上げた。その一つ、税使用料を見直すプロジェクトチームは、現在一定の方向について整理をしたところ。時期を確認して協議したいと考えている。

Q 合併した場合、町民病院はどうなるのか。

A 合併では、それぞれ進めてきた良いところを集めるという視点も必要だと思う。町民病院を核とした施策は、藤沢町の良いところであり、合併に生かすべきだ。その評価は間違いなくいただいている。病院は入院外来をはじめ周辺住民も利用する広域的施設であり、きちんと対応していきたい。

Q 国営農地での新たな牧場が噂されているがどのようなものなのか。公害対策は取られているのか。

A 現在事業が進んでいるのが、ふれあい牧場計画。動物の放牧地として見学してもらう構想で、放牧されるのは野生動物でも牛類、シカ、ヒツジ、ヤギ、そしてキリンと聞いている。企業が経営するため、問題が懸念される場合は町が間に入って適切に対応する。

Q 小学校の統合はどこまで進んでいるか。

A 新しい統合小学校は現在の藤沢中学校に、新しい藤沢中学校は現在の藤沢高等学校の校舎を利用する予定。同中学校は20年8月に引っ越し、21年4月に使用開始の予定。1年間の出生数は町全体でおよそ50人。1クラスの定員は40人なので、2クラスにしかない。将来的には新沼、黄海両小学校も単独で存続できるかどうかは難しい状況だ。この機会に子どもたちの教育環境を見つめてほしい。

Q 総合計画の策定に関し、各自治会が作成した「ミニ計画」の進捗状況はどうなっているか。

A 前回の10カ年総合発展計画の事業進捗状況は、83%の実施状況である。国も地方も財政状況は厳しく、ハードからソフトへと中身が変化してきている。共生社会のまちづくりを進めるため自治会、地域、町があらためて計画を見直すことが新しい総合計画の趣旨だ。



町内6会場で行われたまちづくり懇談会

町の将来を共に考えるまちづくり懇談会」は十月二十二日の保呂羽地区を皮切りに二十七日まで町内六会場で開かれ、協働のまちづくりのあり方について住民と町が意見を交わしました。

今回の懇談会は、町総合計画(基本計画)の策定に伴い開かれたもの。畠山博町長らが今後十年の町の将来像を描いた町総合計画基本構想を説明し、住民から率直な意見や提言を求めました。

六会場の出席者は 保呂羽コミュニティセンター(二十二日)が四十六人、大籠小学校(二十三日)が五十人、黄海地区公民館(二十四日)が七十人、新沼コミュニティセンター(二十五日)が五十七人、徳田交流館(二十六日)が六十人、文化交流センター(二十七日)が五十九人で、合わせて三百四十二人。



町政課題の現状と総合計画について語る  
畠山博町長

町からは、畠山博町長と沼倉憲二副町長、岩淵英生教育長、畠山甲子義農政参与、佐藤和威治総務企画課長、長畑栄一財政課長が出席。町議会からは須藤節男議長をはじめ、多数の議員が各会場を回りました。

各会場とも参加者からは 合併の行方 財政の見直し 行財政改革の内容 国営事業の償還 住民の負担増 町民病院の存続 合併賛否の判断資料の提示 税・使用料の見直し 米価下落の対策 小学校の統合計画 学校跡地の活用方策 などに関する質問があり、畠山町長らが丁寧に答えました。

## 千葉喜一郎さんに 経済産業省感謝状

国勢調査や農林業センサスなど  
統計調査に24年間従事

長年の統計調査に従事した統計調査員の千葉喜一郎さん(72) = 西口字境 = に、このほど経済産業省経済産業政策局調査統計部長から感謝状が贈られました。

千葉さんは昭和59年から統計調査員として、各種統計業務に当たってきました。この間、国勢調査5回、農林業センサス5回、工業統計調査9回、事業所・企業統計調査3回など、多くの調査に携わりました。こうした功績が高い評価を受け、平成11年に岩手県統計協会会長感謝状を、16年に岩手県知事感謝状を受賞しています。

千葉さんは「調査は一人ではできません。皆さんの協力によってここまで務めることができました。感謝の気持ちでいっぱいです」と喜びを話し、「これからも統計調査員として、地域のために頑張っていきたい」と抱負を語っていました。



24年間の統計業務に感謝状  
が贈られた千葉喜一郎さん

## ベトナムの学生と町民が 交流を深める

日越教育交流事業で  
ホーチミン貿易大と農林大の学生来町



藤沢高でお茶の作法を教えられながら抹茶を味わったベトナムの学生

町国際交流協会(高橋義太郎会長)が主催する、第十二回日越教育交流事業で十月十二日、ベトナム・ホーチミン市から五人の学生が来町し、二十一日までの十日間、町内の一般家庭にホームステイしながら日本の文化や生活を学びました。

来町したのはホーチミン貿易大学の女子学生で、ファム・ティ・イエン・ヴィーさん、ゲン・ティ・ゴッグ・ランさん、ドー・トゥワン・アインさん、チン・ティ・キム・オアインとホーチミン農林大学のチャン・ティ・キム・イエンさんの五人。

一行は滞在期間中、町内の一般家庭にホームステイしながら、新沼小、藤沢中と藤沢高で児童・生徒と交流ふじの実学園の見学・交流 げい

び溪、中尊寺、大籠キリシタン殉教公園などの史跡・観光地の見学、町内の福祉医療施設や誘致企業の見学などを行いました。

このうち町文化交流センターで十七日に行われた「ベトナムセミナー」には、同協会員や町民ら約四十人が参加。五人の学生は民族衣装のアオザイを着て演題に立ち、パソコンを使って画像を写しながら、アオザイ、ダラット(避暑地)、地方の料理、花竹などベトナムの歴史や生活、植物について日本語で紹介しました。

参加者はベトナムの紅茶やお菓子などを楽しみ、笛の演奏、歌や踊りなどを交えたユニークな発表を通して、ベトナムの風土、生活、文化や歴史などに理解を深めていきました。

## 栄光賞・スポーツ奨励賞決まる 町体育協会のスポーツ表彰

スポーツで活躍した町民を表彰する町体育協会(皆川珪一会長)の平成19年度「栄光賞・奨励賞・功労賞」の受賞者が決まりました。表彰式は10月7日、第38回藤沢町民総参加体育祭の開会式で行われました。

今年度は全国中学ソフトボール大会に2年連続4度目の出場を果たした藤沢中学校ソフトボール部など全国大会、東北大会、県大会で優秀な成績を収めた4団体、12人に栄光賞と奨励賞が、スポーツ振興に貢献された2人に功労賞が贈られました。

受賞者は次のとおりです(敬称略)。

### 栄光賞

【ソフトボール】 黄海スパーキッズ(黄海小) 藤沢中学校ソフトボール部 菅原愛(花巻東高) 小野寺美貴(同) 氏家春佳(同)

【硬式野球】 伊藤徹(花巻東高) 岩淵大(一関一高) 小野寺勇輔(同) 佐藤大地(同)

【卓球】 皆川朝(藤沢小)

### 奨励賞

【インドアカ】 黄海インドアカ同好会 Mix 藤沢

【綱引き】 藤沢サンイチクラブ

【スキー】 菅原圭太(盛岡農高)

【陸上競技】 千葉智子

【ソフトボール】 伊東美織(宮城県聖和学園高) 千葉ひかる(同)

### 功労賞

熊谷貞吉 小山覚



写真は2年連続4度目の全国大会出場を果たした藤沢中学校ソフトボール部

町福祉医療センター主催の「地域ナイトスクール」は十月十一日から十一月一日まで、文化交流センターなど町内三会場で開かれました。

スクールは十一日の藤沢・八沢地区を対象とした文化交流センターを皮切りに、十八日は保呂羽・大籠地区を対象に保呂羽コミュニティセンターで、十一月一日は黄海地区を対象に黄海地区公民館でそれぞれ開かれ、合わせて百八十人の町民が参加しました。

同スクールは、地域包括医療の推進と町民病院の経営に役立てようと平成六年度から実施しているもので、町民病院や保健センターの担当者らが出席し、町の保健・医療・福祉の現状、町民病院が昨年度から開設している禁煙外来、公開勉強会の取り組みなどについて説明、住民から意見や要望を聞きました。

## 生活習慣病の予防と改善を学ぶ 地域ナイトスクールを開催



生活習慣病の予防の大切さなどを学んだナイトスクール

講師は保健センターで十月一日から十九日まで研修した岩手看護短大の松木瑞枝さん(三年)、柏葉愛美さん(同)と下田真実(同)さんの三人。研修の一環として住民の健康教育を担当した三人は、「内臓脂肪型肥満の人で、血糖・脂質・血圧がやや高いなどの生活習慣病を併せ持つ状態が続くと、動脈硬化や心臓病のリスクが高まります。お腹が出てきた、血糖値が高くなった、などの変化を見逃さない

講師は保健センターで十月一日から十九日まで研修した岩手看護短大の松木瑞枝さん(三年)、柏葉愛美さん(同)と下田真実(同)さんの三人。研修の一環として住民の健康教育を担当した三人は、「内臓脂肪型肥満の人で、血糖・脂質・血圧がやや高いなどの生活習慣病を併せ持つ状態が続くと、動脈硬化や心臓病のリスクが高まります。お腹が出てきた、血糖値が高くなった、などの変化を見逃さない

ようにしましょう」と注意を呼びかけました。また二十年四月から、四十歳から七十四歳までを対象にメタボリックシンドロームに着目した健診や保健指導を行うことが、医療保険者に義務づけられることを上げ、生活習慣を見直す機会として、積極的に受診してほしい」と訴えました。

参加者からは仕事と運動の違いや予防方法について質問が出されたほか、町民病院の運営について、地域医療の拠点として町民病院存続、小児科、産婦人科、眼科の設置、診療体制の充実などの意見や要望がありました。



## とうほく防災コンテストで 第24区自主防災部が見事優秀賞

「とうほく 地域を守る  
防災コンテスト2007」  
(同実行委員会主催)の最終  
審査は九月十六日、一関市  
文化センターで開かれ、本  
町の第二十四区自主防災部  
が第二位に当たる優秀賞を  
受賞しました。

コンテストは、カスリ  
ン・アイオン台風六十年事  
業の一環。一次審査を通過  
した十一団体が、防災や防  
犯など日ごろ地域で取り組  
んでいる活動を事例発表し  
ました。



優秀賞の賞状を受け取る佐藤幸生さん(左)と首藤正男さん(中)

同自主防災部は自治会を  
基盤とする自主防災組織で、  
十七年四月に設置されまし  
た。以来 避難訓練  
救命講習会 炊き出し  
訓練 DIG(図上訓  
練)など、年間を通  
してさまざまな活動を  
展開、住民意識の高揚  
と自主防災力の向上に  
努めてきました。その  
取り組みが高く評価さ  
れました。

地域防災リーダーの  
佐藤幸生さんは、今後  
も地域の防災力を高め  
るため、みんなで頑張  
ります」と決意を新た  
にっていました。

## 自然豊かな秋の風景眺めながら ウォーキングで健康づくり

「第十四回健康ふれあい  
ウォーキング」は十月二十  
一日、徳田交流館を発着点  
とする約五キロのコースで  
行われ、さわやかな秋晴れ  
の下、ウォーキング愛好者  
や家族連れなどが心地よい  
汗を流しました。

ウォーキングは、自然に  
触れながら健康増進を図っ  
てもらおうと毎年開かれて  
いるもの。今年は過去最高  
の二百五十人が参加しまし  
た。参加者は収穫を終えた  
田んぼや紅葉を眺めながら



さわやかな秋晴れの下、自然に触れながらウォーキングを楽しむ参加者

ゴールを目指しました。  
ゴール後は地元から豚汁  
が振る舞われ、お腹を満た  
しながら参加者同士の親睦  
を深めていました。



大籠小の堀籠校長に遊具一式の目録を手渡す「わんぱくちょボラ」の会員たち

第40区自治会の児童・生徒  
18人と大人8人でつくるボラ  
ンティアグループ「わんぱく  
ちょボラ」(佐々木昭夫会長、  
会員26人)は11月8日、地元  
大籠小学校(堀籠智志校長、児  
童37人)に遊具を寄贈しまし  
た。

同日は佐々木会長と事務局  
の佐藤みえ子さんが同校を訪  
問し、40区から同校に通う千  
葉詩乃さん(4年)、千葉梨乃  
さん(1年)、櫻田安希奈さん(同)、  
及川竜一君(同)の4人と  
共に、堀籠校長に目録を手渡  
しました。

寄贈した遊具は、ニュース  
スポーツ「ドッチビー」の道具  
一式。ドッチビーはフライン  
グディスクを使ったドッチボールに似た  
競技。堀籠校長は「休み時間や体育の時  
間に楽しく利用させていただきます」と  
お礼の言葉を述べました。

「わんぱくちょボラ」は、地域の子ど  
もたちの健全育成や世代間交流を目的に平  
成14年に結成されたボランティアグル  
ープです。活動の一環として17年からお盆  
の時期に「チャリティー夏祭り」を開いて  
おり、今回はその際行ったフリーマー  
ケットや夜店の販売代金などで遊具を購  
入しました。

佐々木会長は「少子化で子どもが減り、  
活動が難しくなっていますが、これか  
らも地域の宝である子どものために、活動  
を継続していきたいですね」と話してい  
ました。

## 40区のわんぱくちょボラが 大籠小にドッチビー一式を寄贈



税についての習字と標語を審査する審査委員

## 納税で作ろう守ろう僕らの町を 特賞は藤沢中佐藤綾美さん

町と町納税貯蓄組合連合会が主催する「19年度小中学生の税についての習字・標語コンクール」の審査会は10月11日、町役場で行われ、入選作品が決まりました。

特賞は、習字半紙の部が田島妃優さん(徳田小4年)の「納税」、条幅の部が小野詩織さん(藤沢小6年)の「税金完納」、標語の部が佐藤綾美さん(藤沢中3年)の「納税で作ろう守ろう僕らの町を」の3点でした。入選者は次のとおりです。

半紙(小学3・4年)  
特賞 = 田島妃優(徳田4年) 金賞 = 佐藤正樹(徳田4年) 銀賞 = 村上結月(新沼3年) 同 = 千葉馨太(藤沢4年) 銅賞 = 皆川虎之介(新沼3年) 同 = 立身美穂(藤沢4年) 佳作 = 首藤沙英(大籠3年) 同 = 千葉緋奈(徳田4年)

条幅(小学5・6年)  
特賞 = 小野詩織(藤沢6年) 金賞 = 畠山涼(徳田5年) 銀賞 = 佐藤美奈子(徳田6年) 同 = 伊藤涼子(保呂羽6年) 銅賞 = 小野寺香奈(保呂羽6年) 同 = 菅原三鈴(同6年) 佳作 = 菊池萌瑛(徳田6年) 同 = 小松遥香(同5年)

標語(中学生)  
特賞 = 佐藤綾美(藤沢3年) 金賞 = 佐藤真子(同1年) 銀賞 = 三浦克也(同3年) 同 = 皆川萌(同3年) 銅賞 = 山本和生(同2年) 同 = 菊地和香奈(同1年) 佳作 = 菅原綾華(同1年) 同 = 千葉息吹(同1年) 同 = 千葉祐莉奈(同2年) 同 = 宮崎熙久(同3年) 同 = 小野寺美和(同3年) 同 = 片倉由美子(同3年)

## 寝たきりのお年寄りと家族訪問 健康気遣い介護を激励する

畠山博町長と菊地庸夫町社会福祉協議会長は十月十二日、寝たきりのお年寄りがいる六世帯を訪問し、本人と家族を励ました。

この訪問は、本人の激励はもとより介護に当たる家族も励まそうと、町と町社会福祉協議会が毎年秋に行っているものです。

訪問先で畠山町長と菊地会長は、寝たきりの生活を送るお年寄りと介護する家族の生活状況や体の調子などを聞き、介護用品とバス



訪問先の菊地さん方で、寝たきり生活を送る潔さんに介護用品を手渡ししながら、健康を気遣う畠山町長と菊地会長

「寒くなつてきますので風邪など引かないようにしてください」家族で支え合いながら頑張ってください」と気遣っていました。

タオルを贈りました。このうち砂子田字新城沢の菊地潔さん方では、三年ほど前から寝たきり生活を送る潔さん(七)、妻梅子さん(七)、母やす子さん(九)の三人を

## 明日を築く町産業文化祭で 大勢の町民が文化の秋を楽しむ

「文化祭」と「農業祭」からなる十九年度明日を築く藤沢町産業文化祭は十一月三、四の両日、文化交流センターとJAいわい東藤沢営農センターで行われました。

文化交流センターで開かれた文化祭では絵画、写真、菊花、盆栽、書道、陶芸、手芸など約二千点の作品が展示されたほか、文化財展、防災展、工業展、国際交流展などのコーナーも設けられました。



JAいわい東藤沢営農センターに、所狭しと並べられた生産者自慢の農産物

JAいわい東藤沢営農センターで開かれた農業祭では、農産品評会、神楽団体の演技、もちつき大会などが人気を呼んでいました。

# 国民年金

シリーズ[平成年金事情]—連載①

**Q- 年金額はいいい  
いくらになるのでしょうか？**

**A- 保険料納付期間が原則40年ある場合は、年額79万2,100円になりますが、未納期間や免除期間などがある場合にはその期間に応じて減額されます。**

**老齢基礎年金額**  
79万2,100円(年額)

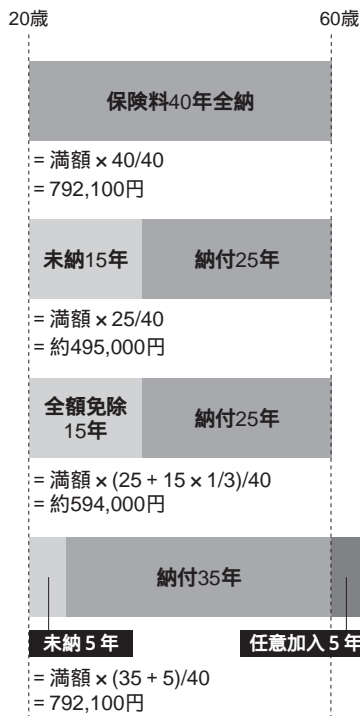
■ 保険料免除期間や未納期間がある場合

$79万2,100円 \times (「保険料納付済月数」+「全額免除月数 \times 1/3」+「4分の3免除月数 \times 1/2」+「半額免除月数 \times 2/3」+「4分の1免除月数 \times 5/6」) \div 40年$ (昭和16年4月1日以前に生まれた人は昭和36年4月1日から60歳になるまでの年数)

■ 保険料納付済期間とは？

第1号被保険者として保険料を納めた期間や第2号被保険者、第3号被保険者期間など

■ 保険料納付済期間に応じた老齢基礎年金の計算方法の例 \*実際には月単位で計算



[問]町民課住民福祉係 ☎63-2111内線254まで

## 町老人クラブ大会を開催し 連合会の発展と活動の推進誓う

町老人クラブ連合会及び川平一(会長)の第二十四回藤沢町老人クラブ大会は十月二十七日、文化交流センターで行われ、同連合会の会員らが老人クラブ活動の一層の充実と発展を誓いました。

大会には同連合会と町内単位クラブ、関係機関・団体などから約四百五十人が参加。あいさつに立った及川会長は、激動の時代を生き抜いてきた経験と能力を生かして、これからも社会とのかかわりを深めながら連合会の活動を推進した



いと述べました。ステージでは、クラブの運営や芸術・文化などの取り組みに貢献した五人の役

連合会の一層の発展と会員の活動の推進を誓った町老人クラブ連合会の老人クラブ大会

果を披露していました。老人クラブ大会終了後は、同連合会が主催する、はつらつシルバークラブルも開かれ、会員たちはコーラス、舞踊など日ごろの練習の成果を披露していました。

員と八人の会員が表彰されました。続いて畠山博町長と須藤節男町議会議長が祝辞を寄せ、最後に、スポーツ・レクリエーション、友愛、世代間交流、趣味・教養活動、社会参加の推進などが盛り込まれた大会宣言を行って、一層の発展を誓いました。

## いつまでも健康で仲むつまじく 金婚のカップル33組を祝う

町社会福祉協議会主催の「第十一回金婚を祝う会」は十一月九日、ニューパレスみなこつで開かれ、金婚を迎えたカップルが関係者の祝福を受けました。祝う会には、対象となる



町内在住の金婚カップル33組が出席した「第11回金婚を祝う会」

四十六組のうち三十三組の夫婦が出席。当祝者を代表して千葉隆一さん・とし子さん夫婦(四十一区)に畠山博町長から「宝」の字を揮ごうした色紙などの記念品が贈られました。

当祝者を代表して謝辞に立った熊谷孝さん・衣子さん夫婦(二十三区)は、結婚から五十年。無事金婚を迎えることができました。二十年、三十年と長生きすることが町への恩返しになります。これからも町の役に立てるよう頑張りたい」と述べました。

## よさこいの演舞など多彩に 藤沢高校で最後の「藤高祭」

県立藤沢高校(大鹿糠文行校長、生徒29人)の「藤高祭」は10月28日、「煌(きらめき)～終幕からのプロローグ」をテーマに同校で開かれました。今年の藤高祭は来春、県立千厩高校と統合する同校最後の文化祭。生徒や保護者、教職員が一体となって展示発表やステージイベントなどに取り組み、思い出を刻みました。

開会を告げるよさこいソーランは、全校生徒29人が参加。慣れ親しんだ校舎をバックに、威勢のよいかげ声とダイナミックな演舞を披露しました。体育館では恒例のもちつきが行われ、生徒と保護者が息を合わせてついた出来たてのもちが訪れた人らに振る舞われました。午後は政治家をパロディーにしたコントでおなじみのお笑い集団「ザ・ニュースペーパー」の公演が行われ、会場を沸かせました。

同日は閉校記念碑の除幕式も開催。記念碑は同校同窓会、PTAなどで組織する「藤高を讃える会」が敷地内に建立したもので、郷土の俳人高橋東臯が残した書にちなんで「遂志の碑」と命名されました。同窓会長の小野寺君雄さん＝保呂羽字口舟＝は「藤高で学んだことを大事に頑張ってほしいと」後輩たちにエールを贈りました。



1校舎の前でよさこいソーランを踊る生徒たち 2体育館で行われたもちつき 3敷地内に建立された「遂志の碑」



地域のお年寄りから「縄ない」を教わる黄海小の児童

## 収穫の喜びみんなで味わう 黄海小学校恒例の「収穫祭」

黄海小学校(櫻井博勝校長、児童104人)の収穫祭は11月10日、同校で行われ、児童、教職員、父母や地域住民が同校実習田で育てたコメの収穫を喜びました。

同日は恒例のもちつきで収穫を祝い、もち料理を囲んで交流を深めました。また、収穫祭に合わせ、お年寄りたちから「昔遊び」「たこ作り」「サツマイモ料理」「縄ない」などを教わったほか、児童有志が所属する「二日町祭神太鼓」の勇壮な演奏も披露され、学校には一日中歓声が響いていました。

今年は9月下旬に稲刈りが行われ、精米で約370㌦が収穫されています。

## 野外で手作り料理振る舞う 徳田小の「チャレンジデー」

徳田小学校(佐藤せつ子校長、児童45人)の「チャレンジデー」は11月9日、同校で行われ、児童たちが舞台発表や野外調理に挑戦しました。

チャレンジデーは「総合的な学習の時間」の一環。1から6年を縦割りして8つの班に編成し、班ごとにメニューを考え、すべて手作りしました。調理の後は、出来上がった料理を審査する「料理コンテスト」も行われ、力作に歓声が上がっていました。この日は保護者や地域の皆さんを招待しており、料理を囲んで交流を深めました。

なお、料理に使ったニンジン、ピーマン、ジャガイモなどは、同校実習畑で児童が育て収穫したものです。



自分たちが育てた食材を使って調理する徳田小の児童たち

## 藤沢中が2部門制覇の活躍 東磐井中学ソフト新人大会

第28回東磐井地域中学校ソフトテニス新人大会は10月6日、一関市千厩町の清田テニスコートで開かれ、藤沢中テニス部が2部門で優勝するなど、大活躍しました。

大会は、各学年男女別のダブルスで競技が行われ、1年男子の部(16ペア参加)で三浦怜君・佐々木大輝君ペアが優勝、2年男子の部(36ペア参加)で伊藤洸君・千葉裕介君ペアが優勝、1年女子の部(21ペア参加)で沼田咲希さん・菅原綾華さんペアが準優勝しました。

藤沢中テニス部は、今年の中総体でも県大会出場を果たすなど、最近、めざましい活躍を見せています。3年生が引退した後も監督やコーチの指導の下、猛練習を重ねてきました。

男子の佐川司コーチは「生徒たちは日ごろの練習成果を発揮してくれたと思います。最終目標は県大会出場。一関地区はレベルが高いので、冬場の練習が勝負だと思っています」と気を引き締めています。



女子の片倉紀子コーチは「3年生が抜けて、自分たちがどうしたらいいか迷いの時期にありましたが、この大会でいい結果が残せました。これをバネに一層のステップアップをしてほしいです。テニスを通じて人間的にも成長することを願っています」と期待を込めていました。

東磐井地域中学校ソフトテニス新人大会で、優勝二つ、準優勝一つと大活躍を見せた藤沢中の男女選手たち



バンドODENNの演奏に合わせて歌う新沼小の親子合唱

## 歌声合わせて親子が一つに 新沼小親子が大合唱を披露

新沼小学校(佐々木敏男校長、児童62人)の児童、父母、教職員は10月27日、同校で行われた学習発表会で総勢130人の大合唱を披露しました。

親子合唱は「子どもたちと歌いたい」という父母らの願いが実現したもので、この日のために3カ月間練習を重ねてきました。演目は3曲。お父さんたちが「明日晴れるかな」を、お母さんたちが「負けないで」を、そして最後に親子全員で「ピリブ」を披露。歌や指揮はもちろんギター、ベース、ドラムなどの演奏も父母らが結成したバンド(ODENN)が担当しました。

4年一磨さんの母で「こどもとうたい隊」実行委員会の小野寺ゆかりさん＝砂子田字新田＝は「親子で楽しむことができ楽しかったです。いい思い出になりました」と充実感にあふれていました。

## 息の合ったハーモニー披露 藤中文化祭合唱コンクール

今年統合4年目となる藤沢中学校(熊谷隆校長、生徒272人)の19年度文化祭は10月27日、同校で行われ、展示や発表などを通して日ごろの学習成果を披露しました。

このうち午後1時半から行われた合唱コンクールには、全校生徒が出演。学年合唱、クラスごとの合唱、そして圧巻の全校合唱で自慢の歌声を披露しました。

この日のために、数週間前から連日練習を重ねてきた生徒たちは、練習の成果を十分に発揮し、息の合った美しいハーモニーで、会場に詰めかけた父母ら大勢の観客を魅了していました。主な結果は次のとおりです。

【合唱の部金賞】 1年B組 2年C組 3年B組

【指揮者賞】 佐藤汐里(1年) 熊谷璃紗(2年) 佐々木香澄(3年)【伴奏者賞】 伊藤茜(1年) 藤愛咲(2年) 皆川萌(3年) 小山佑子(3年) 三浦克也(3年)



大迫力の合唱を披露した3年生全員による学年合唱

## Pictuer

### ぼくとわたしの絵画展

11月は藤沢幼稚園・保育園のお友達の絵です



リンゴがいっぱい



高山天杜くん



かわいいリンゴのき



橋本美月ちゃん



おちばといっしょにたのしいね



畠山梨奈ちゃん



みんなですべろうすべりだい



佐竹 萌ちゃん



どのリンゴにしようかな



畠山悠太くん



たのしかったリンゴがり



畠山瑞紀くん

## Arts

### まちの文芸

はづき句会 / 徳田小学校

【俳句】はづき句会 題・新米

新米に父母の笑顔の並ぶなり

及川やちよ

新米を味はふ命長らへて

佐藤千八子

減反に揺るる新米初出荷

菅原 清信

新米を諸手掴みに研ぎあげる

照井 京子

吾がなせる新米の味確める

千葉 明溪

仏前に新米刺身酒少量

千葉 文枝

納屋の灯に高く積みたる今年米

千葉浅沙男

【俳句】徳田小学校

あさがおの小さい花がかわいいな

一年 星 賢都

秋の山かれ葉がかさかさおどってる

二年 千葉 早貴

もみじがりまっかな夕日ににているよ

三年 千田明日香

帰り道秋の味覚だ目いっぱい

四年 千葉 緋奈

鉄棒に整列している赤とんぼ

五年 小松 遥香

稲刈りでバツタと格闘稲穂ゆれ

六年 星 裕士

## Books

幼児

### あかちゃんがうまれてもわたしのことすき？

リサ・T・バークレン作/ローラ・J・ブライアント絵  
こぐまのルルはもうすぐお姉ちゃん。「もしもね、あかちゃんが好きになれなかったら返してもいい？」とパパに尋ねます。妹や弟が生まれる前の喜びと、少し不安な気持ちが伝わります。

(いのちのことは社フォレストブックス)



一般

### 母よ嘆くなかれ [新訳版]

パール・バック著/伊藤隆二訳  
名作『大地』でピューリッツァー賞とノーベル文学賞を受賞した著者には、知的障害の娘がいました。発育の遅れの原因を追求して、米国中の医師を訪ね歩き、長い苦悩の末に子どものあるがままを受入れるまでの心境が、研ぎ澄まされた文章でつづられています。原題は『The Child Who Never Grew』。

(法政大学出版局)



小学生

### さよならエルマおばあさん

大塚敦子 写真/文

エルマおばあさんが、ガンの告知を受けてから死に至るまでのプロセスをカメラのレンズを通してしっかり伝えていきます。「子どもに死をどう教えたらいいのか」を考えながら、親子で読んでみてはいかがでしょうか。

(小学館)



中学生から

### 十一月の扉

高樓方子作

父親の転勤で家族は引っ越しますが、中学生の爽子は、3学期が始まるまでの2カ月間を「十一月荘」に下宿することに。住人は建築士の女性、小学1年生の女の子と母親、管理人さん。秋の終わり、静かで新しい家族生活が始まりました。

(リブリオ出版)

# Book 図書館情報

## 藤沢町図書館から 11月のおすすめ図書

[開館時間] 9時30分～17時30分[休館日]毎週日・月曜、年末年始、祝日  
[問い合わせ]藤沢町図書館  
☎0191(63)5515

公共図書館、地方自治体が設置は、無料で本や資料を利用できる施設です。皆さんの生涯学習のお手伝いや情報提供の場として、次のようなサービスも行っていきますので上手に活用してください。

インターネット検索  
インターネット接続専用のパソコンが二台あります。利用者登録をすれば、一時間まで利用できます。リクエストサービス  
読みたい本、探している資料があったら気軽にお尋ねください。藤沢町図書館にない場合は、県立図書館や近隣図書館から借りられるほか、国会図書館からも借りることができます。新しい本は予算に応じて、随時購入します。

【行事のお知らせ】  
**わくわくおはなしクラブ**  
12月24日 10:30～11:30  
文化交流センター音楽室  
[内容]  
アニメビデオ  
読み聞かせ  
\*詳しくは町図書館まで

レファレンスサービス  
調べもののお手伝いも行っていますが、回答をズバリお答えするのではなく、手がかりとなる資料を提供するものです。県立図書館の専門スタッフへの依頼も可能です。

## Child

# はいチーズ 千葉智香子ちゃん

ちば・ちかこ 平成18年6月生まれ  
黄海字鬼田 健一さん・由紀さん夫妻の長女

わたしはちかこ。トマトとみかんとパンがすき。パパとママがおしごとにいってるひるまは、おひいさんとおばあさんがあそんでくれるの。えほんをよむのがすき。テレビは「からだであそぼ」をみるよ。「ほねほねワルツ」はだいのおきにいりて、いっしょにおどっちゃう。さい

きんね、ママのおけしょうポーチをいたずらしちゃう。だっておんなのこだもん。おふるはパパとママと3にんではいるの。へへ、なかいいでしょ。

### 両親から一言

わが子の「初めて」を見逃さないようにしています。健康で思いやりのあるやさしい子になってね。





### 「語ってみっぺし明日のこと」

第24回ふじの実祭でフォーラム  
皆さんの協力に心から感謝

文・写真 ふじの実学園



「語ってみっぺし明日のこと」と題し行われたフォーラム

「第二十四回ふじの実祭」は十月六日、「みんなで語ってみっぺし 明日のこと」をメインテーマにふじの実学園で開催しました。当日は、大勢の皆さんのご来場をいただきありがとうございます。

初の企画として、「働くこと」をテーマに行ったパネルディスカッションでは、新沼地区自治会協議会会長の菅原伸昌さん、グループホーム世話人の佐々木筋子さん、保護者会長の武田勝明さん、利用者代表の佐藤雄子さんや卒園者の藤代生巳夫さんから九人のパネリストを招き、意見を交わしました。

「頑張っって早く仕事に就きたい」「たくさん給料がもらえるように頑張っっています」など、利用者の皆さんは堂々と語ってくれました。働くことが社会人としての自覚や自信、明日の希望につながっていることが、会場の皆さんに伝わったと思います。

フォーラムに参加した利用者の家族の一人は、家に帰ってくるとね、『はいこれ、お小遣い』ってくれるんです。『いいから』って言っても『いいからお財布に入れといて』って。いつの間にかもう側になっっているなんてね」と成長を喜んでいました。

### 佐藤寿恵さん

さとう・としえ 徳田字大望沢  
24歳 B型 おうし座 調理師

特技は料理とお菓子作り  
見た目も中身も一級品です

県立磐井病院で調理師として働く寿恵さん。趣味はミシンを使っての小物作り。エコバックを作っって友達に贈り、喜ばれているそうです。

特技は料理やお菓子作り。製菓衛生師の資格も持つ寿恵さんは、店頭に並んでいるような本格的なケーキや洋菓子を自宅で作っってしまうほど。仕

事でもレストランに引けを取らない盛り付けを心がけています。

家庭的な寿恵さん。理想の男性は、父のような人と笑顔で話してくれました。

性格 人に流されない  
休日 デイズニードに行く

マイブーム DSゲーム  
「逆転勝利」

好きなアーティスト  
RIP SLYME

結婚 父が泣かなければ今すぐにでも





Column

「最近ガソリンの値上げすごいですね」「本当だ、今に水より高くなるぞ」「水よりって、あの水ですか」「そつだよ、他にどんな水があるって」「洋一つあん、いつつも変なこと言うけど今回は特に変ですよ。水がガソリンより高いわけないでしょう」「そんなことないだろう、ガソリンはリッター百五十円くらいだろう。自販機で売ってる水は五〇〇ミリリットルで百円以上するぞ。リッター換算で軽く二百円は超えるよ」「だってあれはミネラルウォーターですよ」「なにも英語で言ったがらって高くするごどないだろう、所詮水は水だろう。そして牛乳より水が高かったりするんだぞ」「それは普通ですよ。ミネラルウォーターですから」「だからなんなんだ。ガソリンより高い水、牛乳より高い水、世の中狂ってん

「洋一つあん、なに怒ってんですか。ガソリンが高いことですか、ミネラルウォーターが高いことですか」「あ、そのミネラルウォーターという言い方なんかかなんないのか。よつは水だろつ」「そんなことないですよ。水は水ですがミネラルウォーターにはミネラルが入ってますから」「どこで区別すんのや」「書いてあるでしょ、容器に」「あああ、おまえと話すのやんな。日本の消費者の縮図みたいなやつと。容器の表示だけでものごとの判断する、だから食品の偽物が出回ったり牛乳より高い水を平気で買ったりするやつがいるんだ。ああやだやだ」「そんなに大げさに言つことないでしょう。ほとんどの人が変だと思つてないですよ。そんなこと思つての宇宙で洋一つあんくらいでしょう」「それこそ大げさに来たな。いいか牛乳の原料はなんだ」「原料って？」「牛乳の原料は

「あ、ね、牛乳の原料は水なの。だから製品の牛乳より原料の水が高いのにおれは怒つてんの」「でもあれは水道水でしょう。高いのはミネラルウォーターですから」「飲んでどこが違うのや。こつちはミネラルなんかこつちは水道水わかるのか」「だから容器に書いて……」「なにが書いてあるだ。でそのミネラルってなんなのや」「だから体にいい成分ですよ。あれ、洋一つあん知らなかつたんですか。今はサプリメントの時代ですから」「なにがサプリメントだ、意味も知らないで愚衆化しやがって。いいよ、これからなんにでもミネラル使うからうちの豆腐もミネラル豆腐。これで一丁千円、どつだ買うか」「買いませんよ。そんな名前だけでは」「ふくん、見ず知らずのやつが作つたのには大金を払うが、知り合いのには金を出さないのね」「水知らずでないです、ミネラルウォーター」「ああはいはい、水飲んで元気になるさい」



連載コラム



みなかわ・よういち  
1948年藤沢町生まれ。深葦の昔とうふ工房代表。藤沢野焼祭実行委員会実行委員長。藤沢町民劇団団長。好きな言葉は「天衣無縫」。自分の宝は「夢」。たくさんありすぎて一つや二つ失つても挫折しないから。黄海字西深葦在住、58歳

世の中狂ってる。製品より原料が高い  
お金を払って水を買う時代。

Health

ぼくわたしむし歯ないんだよ

10月12日の3歳6カ月児健診で、むし歯のなかった子どもたち  
[問]保健センター ☎63-5304



小山優斗くん  
おやま・ゆうと  
(藤沢字板橋)



首藤大輝くん  
しゅとう・たいき  
(大籠字奈良原)



佐々木翼玖くん  
ささき・たすく  
(黄海字小日形)



佐藤さくらちゃん  
さとう・さくら  
(西口字玉川)



及川章子ちゃん  
おいかわ・しょうこ  
(黄海字箕ノ輪)



村上紫音ちゃん  
むらかみ・しおん  
(黄海字町裏)



伊藤 諒くん  
いとう・あきと  
(増沢字畑沢)

20年1月16日(水)、2月13日(木)

いずれも午後1時30分から

場所 岩手県立南光病院

対象 うつ病の人とその家族

[問]保健センター ☎63-5304

または一関保健所 ☎26-1415

## 農業所得収支計算・青 申説明会を開催します

### 一関税務署

一関税務署は、下記日程で農業所得収支計算と青色申告決算の説明会を開催します。

[農業所得収支計算説明会]

日時 11月30日(金)

午前10時～11時30分

場所 文化交流センター視聴覚室

[青色申告決算説明会]

① 営業、不動産所得

日時 12月13日(木)

午後2時～3時30分

場所 藤沢町商工会館

② 農業所得

日時 12月13日(木)

午前10時～11時30分

場所 J Aいわい東藤沢支店

[問]一関税務署個人課税部門

☎23-4207

## 募集します

### 国有林のモニターを募集 管理・運営に役立てます

#### 岩手南部森林管理署

東北森林管理局は、国有林の管理・経営に皆さんの声を役立てるため、下記のとおりモニターを募集します。

募集人員 48人

募集期間 12月3日(月)～28日(金)

任期 20年4月～21年3月

内容 アンケートの回答、国有林モニター会議の出席

その他 応募方法、応募資格など詳しくは、下記までお問い合わせください。

[問]東北森林管理局国有林モニター係

☎018-836-2274/FAX018-836-2031

## 新年度の入園児を募集 12月14日まで申し込み

### 藤沢町教育委員会

20年度に町内の幼稚園・保育園に入園を希望する幼児を募集しています。詳しくは下記まで。

募集期限 12月14日(金)

申し込み方法 所定の用紙に記入の上、教育委員会または各園へ申し込んでください。

[問]教育委員会学校教育課幼児教育係 ☎63-5302

## ありがとう ございました

佐藤義雄さん(黄海字上中山)  
光栄荘の設備充実に役立ててと、  
テレビ1台(5万円相当)が寄付されました

徳田部落会(星健一会長)  
徳田保育園の設備充実に役立ててと、  
石油ファンヒーター1台(4万円相当)が寄付されました

小野寺源一さん(黄海字八景下)  
町民病院の設備充実に役立ててと  
金10万円が寄付されました  
岩淵ツネさん(黄海字古堂)  
まちづくりの推進に役立ててと金  
100万円が寄付されました

### お詫びと訂正

本誌10月号29ページ掲載の「保健福祉コーナー」文中、インフルエンザ予防接種の実施期間を平成20年3月31日と表記しましたが、正しくは平成20年1月31日の誤りでした。お詫びして訂正します。

### 休日の当番医(東地区)

月日	医療機関	地区	電話番号
11月18日	吉田内科循環器科医院	大東	(71)2131
23日	千葉内科医院	東山	(47)3898
25日	小原医院	大東	(75)2230
12月2日	遠藤医院	千厩	(53)2126
9日	阿部医院	東山	(47)3898
16日	川崎弥栄診療所	川崎	(43)3114

当番医は変更される場合がありますので、電話で確認してからお出かけください

## 戸籍の窓

### こんにちは赤ちゃん

熊谷 蒼太(慎也・亜紀/黄海字西深萱)  
伊藤 博貴(昌紀・松子/増沢字柏木)  
清水 朝陽(崇・加奈/黄海字熊館)  
渋谷 佳蓮(真之・由理/保呂羽字宇和田)  
畠山 遥奈(洋・恵/徳田字馬場)  
伊東 莉玖(直樹・幸恵/黄海字深田和)

### ご結婚おめでとう

後藤 広信・有紗(黄海字古堂)  
佐藤 貴則・さゆり(藤沢字町裏)  
畠山 満・容子(徳田字馬場)  
玉澤 桂太・蘭(新沼字石合)  
及川 悟・芳子(徳田字名生城)

### お悔やみ申し上げます

千葉とら子 93 保呂羽字大沢田  
千葉 禎治 83 藤沢字吉高  
小野寺辰子 78 黄海字八景下  
佐藤 一雄 85 藤沢字大平  
小野寺 功 73 藤沢字黒石  
菊地 良子 78 砂子田字前川原  
和田 系み 88 藤沢字榴  
石川キクヨ 94 西口字東小戸沢  
星 多喜子 74 藤沢字町  
菊地たけ子 89 藤沢字町裏  
玉澤 豊土 77 砂子田字境田

\*敬称略。届け出時に総合情報誌への掲載を希望した人だけ載せています

### 藤沢町の人口

地区	人口	前月比	世帯数	前月比
藤沢	3,169	-16	1,045	-1
黄海	2,573	6	721	1
八沢	2,480	1	773	-1
大津保	1,461	7	432	1
計	9,683	-2	2,971	0
男	4,756	-2		
女	4,927	0		

2007年11月1日現在

## お知らせ

### ひまわり荘が営業廃止 ご利用は2月29日まで

岩手県国民健康保険団体連合会

盛岡市繫の「ひまわり荘」が、利用者の減少により経営を継続していくことが困難となったため、平成20年3月31日で廃止することとなりました。なお、平成20年2月29日まで通常営業します。

長期にわたりご利用いただき、ありがとうございました。

[問]岩手県国民健康保険団体連合会 総務課 ☎019-623-4322

### 産後8週間まで男性も 育児休業取得できます

岩手労働局

「育児は女性がするもの」と思っていますか。妻が専業主婦や産後休業中でも、少なくとも産後8週間までは男性も育児休業を取得することができます。

[問]岩手労働局雇用均等室

☎019-604-3010

### 万に備え小規模共済 と経営セーフティ共済

独立行政法人中小企業基盤整備機構

個人事業主や会社等の役員の方皆さん、万に備えて「小規模企業共済制度」「経営セーフティ共済」に加入しませんか。

小規模企業共済制度

個人事業主や会社等の役員が事業をやめたり退職した場合に、生活安定や事業再建の資金をあらかじめ準備する制度で、小規模事業者の退職金制度。特徴は次のとおり。

①税法上、掛金は全額所得控除。受け取る共済金は、退職所得または公的年金等の雑所得②受け取る共済金の額は、個人事業の廃止で掛金を約年1.5%相当で複利運用した額。または老人給付(年齢満65歳以上で納付年数15年以上)で掛金を約年1.0%相当で複利運用した額③急に事業資

金が必要になった場合、納付済掛金から8~9割の範囲内で借り入れることができます。

経営セーフティ共済制度

取引先の突然の倒産が原因で、経営悪化の危機に直面してしまったときに資金を借り入れることができる制度。

①無担保・無保証人で、積立金の10倍(最高3,200万円)の範囲内で借り入れることができます②掛金は税法上、必要経費または損金に算入できます

申込先 商工会、商工会議所、金融機関の本支店

[問]独立行政法人中小企業基盤整備機構経営安定再生部

☎03-5470-1540

### 建築確認の日数が延長 設計変更の検討早めに

県南広域振興局一関総合支局

一昨年が発生した構造計算書偽装事件により6月20日に「建築確認・検査の厳格化」を柱とする建築基準法等が一部改正されました。

これに伴い建築確認に要する日数が延長されました。建築主は、事前に設計者と綿密な打ち合せの上、確認申請をしてください。設計変更を検討する場合は、工事スケジュールの影響に十分留意してください。建物により、構造審査の手数料が必要です。

[問]県南広域振興局一関総合支局土木部建築指導課 ☎26-1418

### インターネットを使い 登記の申請等が可能に

盛岡地方法務局一関支局

盛岡地方法務局一関支局は、11月26日(月)から不動産登記と商業・法人登記のオンライン登記申請を取り扱います。これにより、登記の申請や登記事項証明書の請求は、インターネットを利用できるようになります。請求された証明書は、郵送により交付されます。

[問]法務省オンライン申請システム「<http://shinsei.moj.go.jp/>」をご覧ください。

### 岩手県最低賃金が改定 9円アップ1時間619円

岩手労働局

岩手県最低賃金が、10月28日から1時間額610円から619円に改定されます。パート、臨時、アルバイトなどを含め、すべての労働者に最低賃金以上の賃金が支払わなければなりません。現在の賃金額が改定された最低賃金額を下まわっていないかチェックしましょう。

「守ろう! 確かめよう! この最低賃金 岩手県最低賃金619円」

[問]岩手労働局賃金室

☎019-604-3008

### 「特別弔慰金」の請求は 20年3月31日までです

役場町民課

第8回特別弔慰金の請求期限が近づいています。遺族の皆さんは、平成20年3月31日までに役場町民課に請求してください。

特別弔慰金は、戦没者等の死亡当時の遺族で、平成17年4月1日に、公務扶助料や遺族年金等を受ける人がいない場合に、額面40万円、10年償還の記名国債が支給されます。

支給対象者は次の順位で遺族一人。

①甲慰金の受給権者②戦没者等の子③戦没者等と生計関係があり、戦没者等と氏が同じで(1)父母(2)孫(3)祖父母(4)兄弟姉妹④前記③以外の(1)父母(2)孫(3)祖父母(4)兄弟姉妹⑤前記①から④以外の遺族で、戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上生計を有していた三親等内の親族

[問]役場町民課住民福祉係

☎63-2111内線258

## 開催します

### 心のサプリメント教室 うつ病理解と再発予防

保健センター

うつ病について理解を深め、再発予防について学びます。

日時 11月28日(水)、12月12日(水)

わたしの  
夢

## 及川 航さん

おいかわ・こう 黄海小6年 黄海字川口沖



### 巨人の小笠原選手のように フルスイングが似合う打者になりたい

ぼくは野球が大好きです。黄海オールファイトーズでファーストを守っています。好きな選手は巨人の小笠原選手。フルスイングがかっこよくて、ヒットもホームランも両方打てるところがすごいです。中学でも野球部に入り一生懸命練習して、将来はフルスイングの似合うバッターになりたいです。

#### 編集後記

マーチング&コンサートで会を務めた畠山秀樹さんは終了後、「大事なことは才能ではなく努力と情熱。情熱をなくしたら、天才だって凡人になっってしまう。夢を抱き、情熱を持って努力するから昨日より今日、今日より明日と前に進んでいけるんです」と言った。すてきな言葉だと思った。情熱という言葉は「情」が「熱い」と書く。人情の厚い、愛情の深い人たちがつくったコンサートだから、あんなに温かいんだなと納得。情にふれた記憶は、いくつになっても心の中から消えないものだ。十年、二十年後、スタッフとして忙しく走り回る子どもたちの姿が目に浮かんで来た。

(自治振興課 畠山浩)

◎まちの総合情報誌ふじさわ11月号の印刷経費は1部71円です